

2024 年 8 月 6 日

東京都知事 殿

住所 東京都千代田区内神田2-3-4

氏名 サミットエナジー株式会社 代表取締役
社長執行役員 小林 政司

(法人にあつては名称、代表者又は管理者の氏名及び主たる事務所の所在地)

エネルギー状況報告書提出書

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第9条の5の規定によりエネルギー状況報告書を提出します。

事業者の名称	サミットエナジー株式会社
事業者の所在地	東京都千代田区内神田2-3-4
エネルギー状況報告書	別添のとおり
連絡先	運用管理部 担当者名: 吉川 拓海 (電話番号 03-6479-5088)
事業者のHPアドレス	https://www.summit-energy.co.jp/
※受付欄	

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	サミットエナジー株式会社 代表取締役 社長執行役員 小林 政司
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区内神田2-3-4

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無
都内供給区分	☒ 特別高圧 ☒ 高圧 ☒ 低圧(電力) ☒ 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	事業者のHPアドレス https://www.summit-energy.co.jp/
	・小売電気事業 弊社は、小売電気事業、特定送配電事業を営んでおります。2001年7月1日より、関西電力管内での小売を皮切りに、同年10月1日からは中部電力管内、2004年7月1日から東京電力管内、2005年7月1日から東北電力管内、2009年6月より九州電力管内、2015年3月より北海道電力管内、2017年1月より中国電力管内、2018年4月より北陸電力管内で、2018年9月より四国電力管内で小売電気事業を開始し現在に至っております。 ・発電事業 関連会社においては、発電事業を営んでおります。発電事業所の概要は以下の通りです。 ・サミット美浜パワー株式会社(千葉県千葉市) 57.5MW (火力:都市ガス) ・サミット明星パワー株式会社(新潟県糸魚川市) 50MW (火力:木屑/石炭) ・サミット小名浜エスパワー株式会社(福島県いわき市) 56MW (火力:石炭)(現在発電休止中) ・サミット半田パワー株式会社(愛知県半田市) 75MW(木質バイオマス、石炭) ・サミット酒田パワー株式会社(山形県酒田市) 50MW(木質バイオマス、石炭)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	運用管理部
	電 話 番 号	03-6370-3310
	連絡先 ファクシミリ番号	03-6370-3311
	電子メールアドレス	environmental_report@summit-energy.co.jp
公 表 の 担当部署	名称	運用管理部
	電 話 番 号	03-6370-3310
	連絡先 ファクシミリ番号	03-6370-3311
	電子メールアドレス	environmental_report@summit-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2024 年 09 月 01 日		～	2025 年 07 月 31 日	
公表方法	☒ ホームページで公表	アドレス: https://www.summit-energy.co.jp/				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☐ その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	139.76	0.00

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.438	0.000	99.49%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.289	0.275	
調整後CO ₂ 排出係数	0.426	0.361	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・グループ会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーで発電された電気の調達。 ・グループバイオマス発電所(愛知県半田市:2017年6月運転開始、山形県酒田市:2018年7月運転開始)からの電気の調達。 ・非化石証書の購入(345,304,787kWh)による温対法調整後排出係数の低減。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	9,726	3.05%	24,332	12.42%
(FIT電気)	8,159	2.56%	22,348	11.41%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・グループ会社であるサミット明星パワー(株)(バイオマス比率72.4%)より、再生可能エネルギーで発電された電気の調達。 ・グループバイオマス発電所であるサミット半田パワー(バイオマス比率98.1%)、サミット酒田パワー(バイオマス比率96.5%)からの電気の調達。 ・非化石証書の購入(345,304,787kWh)。
--

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

非FIT非化石証書に環境価値が移り、電気から環境価値が分離された事で未利用エネルギーの把握が困難になっております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

関連会社にて以下にて取組を継続実施しております。

・サミット美浜パワー: 発電設備のDSS(日間起動停止)を採用しているが、運転中は極力定格出力に近い運転点において運用し発電効率向上を保つ取り組みを行っており、かつ蒸気を併給する事で総合効率の向上をはかっています。また、更なる総合効率の向上に向け、発電設備の増設を実施し、平成28年1月より営業運転を継続しております。

・サミット明星パワー: バイオマス燃料の混焼比率を高める努力を継続的行っており、バイオマス比率72.4%と高い実績で運用できた。また、設備の安定運転に努めると共に、故障の再発防止に継続して取組み、ロスの減少に努めております。同発電所においても、東日本における供給力が逼迫する局面においては稼働率を上げる運用を行っております。

・サミット小名浜エスパワー: 東日本大震災で蒸気の供給先が被災したことにより総合効率が低下しておりますが、効率回復のために余剰蒸気を有効活用すべく蒸気タービンの増設工事を行っており、平成28年12月より営業運転を継続しております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家の皆様に、新エネルギー等についての情報や、その他地球温暖化対策推進のための情報を提供しております。

・一部需要家に対して電気の見える化サービス(30分毎の電気使用量をWEB上で確認できるサービス)の提供を開始しており、提供範囲を広げる方針で取り進めております。

・サミット明星パワーにて発生したグリーン電力環境価値の販売活動を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・省エネルギー対策として、空調設定温度の管理、ノーネクタイの実施、夜間・休日のOA機器電源OFF・空調機器電源OFF等による電気量削減・空調負荷低減に取り組んでおります。

・本社オフィスの入ったビルへの電力供給を開始し、調達したFIT電気と非化石証書を組み合わせて実質CO2排出量ゼロの電気を供給した。その電気を使用することで事業活動に伴うCO2排出量の低減を行っております。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	0.000	100.00%	23.54%	-	-	-
メニューB	-	-	-	-	-	-
メニューC	0.455	100.00%	11.86%	-	-	-
メニューD	-	-	-	-	-	-
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-
メニューK	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)